

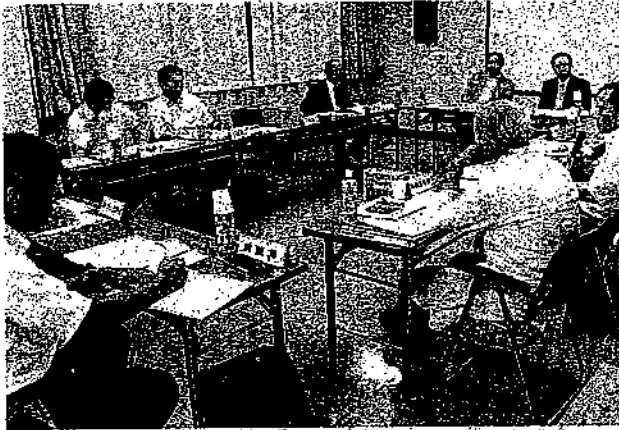
2010.7.28(水)

三好病院

分娩再開要望相次ぐ

耐震化工事
年度内着手

整備検討委が初会合



休止している分娩の再開などについて意見を
交わす委員＝三好市池田町の県立三好病院

耐震化に伴う県立三好の拠点病院として今後担
病院（三好市池田町）のうべき医療機能を話し合
改築に合わせ、西部地域う三好病院整備方針検

討委員会」の初会合が26
日夜、同病院であった。
委員からは、産科医不足
から休止している分娩の
再開を望む意見が相次い
だ。

徳島大学病院の吉原稔
院長や三好病院の余喜多
史郎院長、自治体関係者
ら委員8人が出席。県か
ら病院の方向性につい
て、急性期医療や救急医
療、がん医療機能を核と
することなどが説明され
た。この中で、改築に合
わせ分娩を再開させたい
との方針も示された。

委員からは「赤字経営
も覚悟の上で、お産がで
きる体制を整えてほし
い」との意見が続出。
「医師不足などを考える
と、分娩をしているつる
ぎ町立平田病院との両立
は難しく、どちらかに医
師と機能を集約させるこ
とが望ましい」との慎重
意見もあった。

三好病院は、病室のあ
る高層棟（6階建て延べ
7226平方メートル）と外来
のある低層棟（2階建て
延べ3925平方メートル）に
分かれる。高層棟は敷地
内に建て替える計画で、
2010年度中にも設計
に着手、早ければ13年度
の完成を目指す。低層棟
は本年度中に耐震補強工
事を行う。

県は、委員の意見をま
とめて10月にも整備方針
を策定する。